

1. 基本計画掲載事業のうち平成 20 年中に実施(完成含)するもの

①歴史的遺産の保存、修復、公開

平成19年宮内庁より所管換を受けた堺町御門両脇の門番所等の保存改修作業を実施



堺町御門 門番所（改修前）

②歴史的遺産に関する情報提供の拡充

4カ国語（日英中韓）に対応した歴史「駒札」20基を設置し、苑内散策モデルルート「京都御苑歴史ふれあいの道」を設定（末尾説明資料参照）



完成イメージ：(例) 京都市が梨木神社に設置した駒札

③堺町休憩所の建て替え

情報発信のサテライト施設となる堺町休憩所を御苑の景観に配慮した意匠で建て替え、休憩・情報交流の場としての空間を設け周辺施設イベント情報等交流の場として活用



完成イメージ：平成20年度末完成予定の堺町休憩所

④苑内樹木の保全

京都御苑の樹林管理、及び自然環境情報の整備等のために、苑内に現在確認されている約1万6千本に及ぶ中高木等樹木（径10cm以上のもの）に関するデータベースの構築

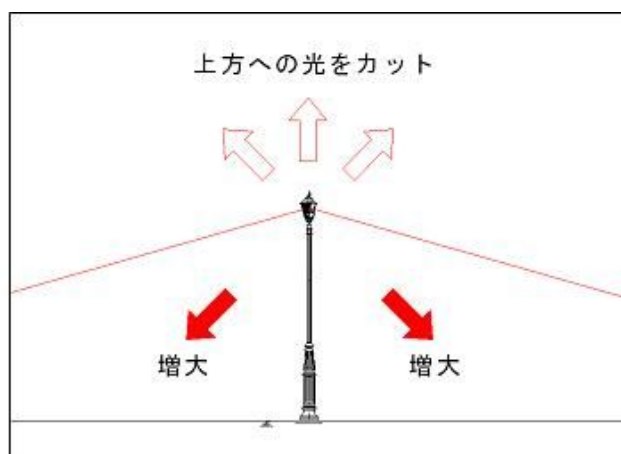
⑤グリーンライティング（生物への配慮・光害対策）

外灯内部に遮光板を設置し、上空への光害を軽減、利用者の防眩対策を実現

現在の光源について、老朽化時等に取り替えて地面の元の照度を維持しつつ、よりCO₂発生が少ない光源に変更が可



外灯：現況（ルーバー設置前）



遮光板（ルーバー）設置後の光状況イメージ

2. 基本計画に関連する分野で、平成 19 年度事業で完了したもの

①地場産材を利用したベンチ改修

苑内に 500 近くある既存ベンチのうち老朽化した半数のベンチの座板を京都の地場産である北山スギ材の利用により改修（設置にかかる移送に伴うCO₂発生抑制効果について京都府地球温暖化防止活動推進センターより評価）



北山スギベンチ

②節電による温室効果ガスの排出を軽減

建物内の照明装置へ人感センサーを導入のうえ自動点灯制御を行って消費電力を軽減



閑院宮邸の天井に設置した人感センサー

③名木の保護

「清水谷家の棕（ムク）」（京都御所西南角）の保護のため樹木支柱を設置



樹木支柱(波線で囲んだ所)

④京都御苑ノート

公園利用者や市民のニーズを把握するため休憩所等に「京都御苑ノート」20冊を設置し、利用者の様々な声を聴取



閑院宮邸収納展示室内の設置状況

⑤バリアフリー対策（一部）

苑内に設置してある水飲み場へ「渡り石」を設置してL型側溝の段差を解消



猿が辻東側の水飲み場に設置した渡り石

京都御苑歴史ふれあいの道について

■目的

基本計画のうち、重点的に取り組む事項「情報発信機能の充実」を踏まえ、「京都御苑にある歴史・文化資源や自然等の情報を多様な層の利用者へ伝える」ことを目的に行います。

■概要

京都御苑一円に点在する歴史の舞台の跡をたどる道です。

平安から幕末、明治に至る歴史的遺産やかつて近辺にあったと想像される地点に歴史を解説する駒札型の案内板 20 基を整備します。このうち、18 基には遊びの要素を取り入れた附属台も整備します（次頁イメージ図参照）。

■案内する歴史の場所は次の 20 箇所です。

蘇井あがたい（一条家跡） 九条邸跡しゅうじょうていあと（優美な茶室が遺る） 学習院跡がくしゅういんあと（仁孝天皇在位中の建設）
猿が辻さるがつじ（魔よけの猿） 近衛邸跡このゑていあと（糸桜の名庭） 蛤御門はまぐりごもん（幕末激戦地） 清水谷の棕しみずたにむく（雄大な大木）
閑院宮邸跡かんいんのみやていあと（光格天皇出身の宮家） 中山邸跡なかやまていあと（明治天皇の産屋現存） 凝華洞跡きょうかどうあと（仙洞御所の一つ）
鷹司邸跡たかつかさていあと（五摂家） 瑛町御門えいまちごもん（幕末激戦地） 西園寺邸跡さいおんじていあと（九清華家） 王御門邸跡つちみかどていあと（藤原道長邸跡）
橋本家跡はしもとあと（皇女和宮誕生の家） 博覧会場跡はくらんかいじょうあと（明治の常設博覧会場） 賀陽宮邸跡かやのみやていあと（孝明天皇信任の親王）
出水の小川でみずのおがわ（昭和新設の親水広場） 桜町さくらまち（紀貫之邸跡） 枇杷殿跡びわどのあと（紫式部、清少納言が技を競う）

■標記

解説文は日本語のほか、中国語（簡体字）、ハングル、英語で表記しています。

■参考図書、協力者

（出典）

「京都の歴史1」京都市史編さん所、「平安時代史事典」角田文衛監修、「源氏物語の風景」隴谷寿、「平安京提要」古代学協会・古代学研究所、「明治維新と京都」小林丈広、「京都史蹟第九号」(財)京都史蹟会、「京都御所仙洞御所」京都新聞社、「幕末の天皇」藤田覚、「京都御所仙洞御所」京都新聞出版センター、「御所物語」中川登史宏、「維新の京洛」田中雅夫、「幕末・京大阪 歴史の旅」松浦玲、「宮家の時代」鹿島茂、「近代天皇制と古都」高木博志、「新撰京都名所圖會」竹村俊則、「百二十五代の天皇と皇后」秋田書店、「日本の美術」、「歴史の中の皇女たち」服藤早苗、「京都源氏物語地図」社団法人紫式部顕彰会、「皇族・華族古写真帖」新人物往来社、「H12 京都御苑」、「十跡十木」京都御苑事務所、「京都御苑ニュース」、「閑院宮邸パンフレット」 「京都市上京区ホームページ」、「平安神宮ホームページ」、「京都市歴史資料館ホームページ」ほか、

（協力）

アルファ・プリント社 李偉 金炳辰 西田万里子 重本晋平 似田貝諭 白雲神社ほか

（編集）

小沢晴司 中西甚五郎 大塚雅一 足立恭子

うきだしえつきこまらだ
～浮出絵付駒札を巡る～

京都御苑歴史ふれあいの道

京都御苑歴史ふれあいの道

京都御苑は、今は幻の公家町のあとにつくられた杜です。歴史ふれあいの道をたどり、駒札についている浮出絵のかけらを集めると、一つの絵ができます

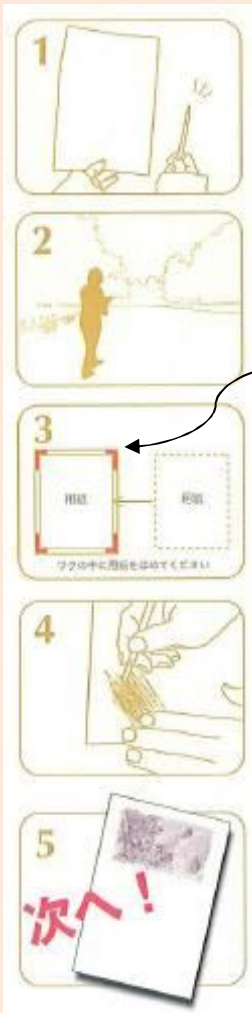
浮出絵付駒札

苑内には将棋の駒形の歴史案内の立て札看板があり、下図の20基のうち18基に、浮出絵の凹凸のかけらの一部をおいた台板がついています。台に紙をおいてえんぴつなどでこすり、紙の後ろの凹凸を絵に浮かびあがらせます。

歴史ふれあいの道順路

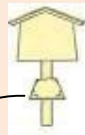
どこから始めても自由です。
対象年齢目安：6才以上
浮出絵の場所：18か所
所要時間：80～120分
のんびり：120～180分

浮出絵の集め方



1 家から、A4（たて29.7cm×よこ21cm）の紙と、HBかBのえんぴつをもってきましょう。

2 右の地図の駒札をまわり、柱に台板のついているものを探しましょう



この駒札と台がめじるしです。

3 駒札についている台板に、左図のように紙をのせて、凹凸分のうえをえんぴつでこすります。



浮き出し絵のコツ！

- ・紙をしっかりとさえます。
- ・できるだけやさしく、同じ力でこすります。

4 凹凸の模様が紙に浮出してきたら次のポイントへすすみましょう



お問合せ 京都御苑管理事務所 075-211-6348
デザイン協力 重本 晋平

(京都御苑歴史ふれあいの道・順路と使い方イメージ)